

心豊かな成長を願い「赤ちゃん訪問」時に木のおもちゃと絵本のプレゼントも行っています。



母親の八巻和枝さんと乃ノ夏ちゃん。健やかな成長と子育てを、みんなで応援します。元気に大きくなあれ。

『赤ちゃん誕生祝金』 第1号は八巻乃ノ夏ちゃん

村の宝である子ども達の健やかな成長を願い、村は令和5年度から、新たな子ども・子育て事業を展開しています。その一つ『赤ちゃん誕生祝金』贈呈の第1号となったのは、6月2日に誕生した八巻徳一さん(草野)の長女・乃ノ夏ちゃんでした。『赤ちゃん誕生祝金』は村の単独事業で、令和5年4月1日以降に村に出生届を出した村に住所を有する養育者が対象で、保健師による「赤ちゃん訪問」後に申請をしていただき、お祝いの20万円を贈るものです。

あぶくまロマンチック街道 5年間の事業プランを策定

国道399号線が通る飯館村・葛尾村・浪江町・川内村・田村市の5市町村が、官民一体で沿線の地域活性化に取り組む『国道399号あぶくまロマンチック街道沿線自治体連絡協議会』。各市町村の首長など協議会のメンバーが、6月27日、川内村の「いわなの郷体験交流館」に集い、今年度から5年間にわたる事業計画を取りまとめました。計画には、街道沿いをまるっと紹介するガイドブックの作成、合同販売会の開催など、各地域の魅力を結集し高め合う事業が盛り込まれています。



各市町村の首長が意見を交換。各地の郷土料理を詰め合わせた特製ランチも登場しました。



『昆虫の聖地協議会』が発足 里山の魅力を発信します

飯館村を含む県内外の15市町村が加盟して『昆虫の聖地協議会』が発足しました。この協議会では、加盟市町村が、多様な昆虫が生息している地域性を生かし、里山の環境を守りながら、連携して観光振興などに取り組んでいきます。発足式は、7月8日に、田村市常葉町の「文化の館ときわ」で行われ、会長には田村市の白石高司市長、副会長には葛尾村の篠木弘村長が選任されました。豊かな自然を誇る本村も、協議会の一員として、里山の魅力発信に参画していきます。

飯館村森林組合が伐採式 新事業の目標達成を祈願

飯館村森林組合は、蕨平地区に飯館バイオパートナーズ株式会社が整備する木質バイオマス発電施設の材となる木の伐採を、7月から開始しました。この新事業に向けた安全祈願祭と伐採式は、6月30日に行われ、佐藤長平組合長(宮内)が「森の恵みに感謝して事業に取り組み、カーボンニュートラルなど持続可能な社会の実現にも貢献したい」とあいさつ。杉岡村長は「福島森林再生事業などを活用し未来につながる森林の再生を進め、村の経済活性化にもつなげたい」と事業を展望しました。



各自治体の代表と関係者、竹谷とし子復興副大臣が来賓が出席した発足式であいさつする杉岡村長。



伐採の様子。森林組合はこの新事業で協力企業と共に年間約100haの森林の伐採を進めていきます。

更生保護女性会と保護司会が 朝のあいさつ運動を実施

7月11日、いいたて希望の里学園で、飯館村更生保護女性会(杉浦正子会長/伊丹沢)と飯館村保護司会(石井せん会長/白石)の皆さんが、あいさつ運動を行いました。この日は両会から14人の方が参加し、登校してくる子ども達に笑顔で「おはようございます」「いってらっしゃい」と声をかけていました。子ども達も大きな声で、「おはようございます」とあいさつを返していました。このあいさつ運動は毎年実施しており、地域の方と子ども達が顔を合わせる貴重な機会となっています。

『社会を明るくする運動』 立ち直りを支える地域の力

7月3日、飯館村保護司会から3人の保護司が来庁し、『第73回「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式』が行われました。この運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。式では石井会長が、「生きづらさに寄り添い、互いに支え合うコミュニティを築くことこそが、安全で安心な社会の実現につながる」と読み上げ、メッセージ状を手渡しました。



学園の正面玄関前で朝のあいさつを交わす、保護司会・更生保護女性会の皆さんと子ども達。



左から、多田宏さん(宮内)、石井せん会長(白石)、杉岡村長、長正増夫さん(大久保・外内)。